

■大項目評価のイメージ ～「第1 府民に提供するサービスその他の業務の質の向上」※法人の自己評価段階の整理

小項目評価の集計

	今回の 年度評価の 対象項目数	I 年度計画を大 幅に下回って いる	II 年度計画を十 分に実施でき ていない	III 年度計画を順 調に実施して いる	IV 年度計画を上 回って実施し ている	V 年度計画を大 幅に上回って 実施している
高度専門医療の提供・ 医療水準の向上	36	0	2	31	3	0
患者・府民サービスの 一層の向上	11	0	1	10	0	0
より安心して信頼できる 質の高い医療の提供	17	0	0	17	0	0
府域の医療水準の 向上への貢献	7	0	0	7	0	0
合 計	71	0	3	65	3	0

※ウェイト2の項目が 13 項目あり、
それを考慮すると、
IIが4、IIIが75、IVが5となり、
III～Vの項目の割合は80/84

⇒III～Vの項目が 9 割以上占めること
から、Bの「おおむね計画どおり」に進
捗している、と判断できる。

評価において考慮すべき事項

小項目評価における「特筆すべき取組」

- (1)自己評価がIV・Vの項目
 - (21) 入院医療の標準化【IV】
 - (28) 医療施策の実施機関としての役割（成人病センター）【IV】
 - (29) 医療施策の実施機関としての役割（母子保健総合医療センター）【IV】
- (2)自己評価がI・IIの項目
 - (19) 病床利用率の向上【II】
 - (26) 医療施策の実施機関としての役割（呼吸器・アレルギー医療センター）【II】
 - (38) 待ち時間の改善【II】
- (3)上記のほか「特筆すべき取組」とする項目、特記事項等

「第1 府民に提供するサービスその他の業務の質の向上」の大項目評価とその理由

- S「特筆すべき進行状況」
- A「計画どおり」
- B「おおむね計画どおり」
- C「やや遅れている」
- D「重大な改善事項あり」

■大項目評価のイメージ ～「第2 業務運営の改善及び効率化」※法人の自己評価段階の整理

小項目評価の集計

	今回の 年度評価の 対象項目数	I 年度計画を大 幅に下回って いる	II 年度計画を十 分に実施でき ていない	III 年度計画を順 調に実施して いる	IV 年度計画を上 回って実施し ている	V 年度計画を大 幅に上回って 実施している
運営管理体制の確立	1	0	0	0	1	0
効率的・効果的な 業務運営	25	0	0	25	0	0
合計	26	0	0	25	1	0

※ウェイト2の項目が5項目あり、これを考慮すると、
IIIは29、IVは2となる。

⇒すべての項目がIII～Vであり、
A「計画どおり」に進捗している、と
判断できる。

評価において考慮すべき事項

小項目評価における「特筆すべき取組」

- (1)自己評価がIV・Vの項目
(72) 運営管理体制の確立【IV】
- (2)自己評価がI・IIの項目
なし
- (3)上記のほか「特筆すべき取組」とする項目、特記事項等

「第2 業務運営の改善及び効率化」の大項目評価とその理由

- S「特筆すべき進行状況」
- A「計画どおり」
- B「おおむね計画どおり」
- C「やや遅れている」
- D「重大な改善事項あり」